

中一国語

漢字 第四回 漢字の成り立ち

講師・・羽場 雅希

◆今日の授業で学ぶこと

- ・漢字の成り立ち

※今回の授業には、「**漢字辞典**」を持って参加しましょう。

紙の辞書でも電子辞書でもかまいません。

初 林 上 馬 月

◆ 調べてみよう！

◆ 漢字の成り立ち

- ① 象形文字……物の形をそのままかたどつたもの。

(例) 山、羽、平

- ② 指事文字……形に表せないものを、点や線・記号などを使って指し示したもの。

(例) 一、上、下

- ③ 会意文字……二つ以上の漢字を組み合わせて、新しい意味を表すように作ったもの。

(例) 休、林、森

- ④ 形声文字……二つの文字を組み合わせ、一方が音を、もう一方が意味を表すように作ったもの。

(例) 花、雲、課

【第一問】

次の漢字はそれぞれどのようなように成り立っている漢字か。適切なものを選び、記号で答えなさい。

- (1) 三
- (2) 人
- (3) 銅
- (4) 宿

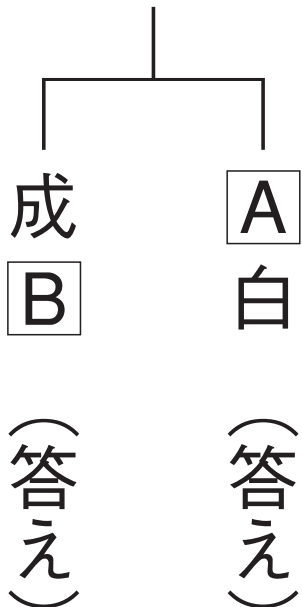
ア、象形文字　イ、指事文字
ウ、会意文字　エ、形声文字

- (1) イ
- (2) ア
- (3) エ
- (4) ウ

【第二問】

上の漢字を声符（音を表す部分）にした漢字を例にならって答えなさい。

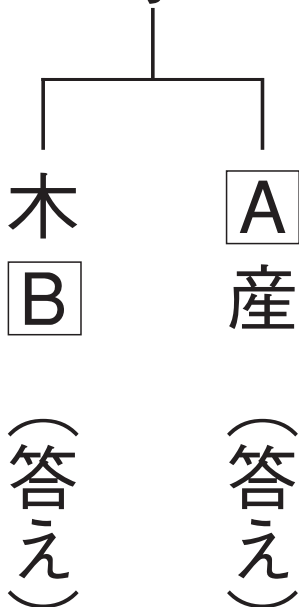
【例】工



功 紅

(1)

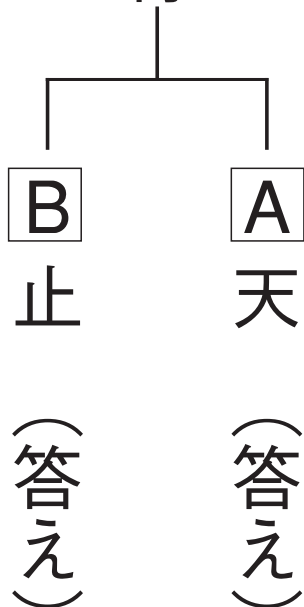
才



材 財

(2)

青



静 晴